

古川 公俊 氏
福岡ビジネス協議会
代表世話人



● 正興電機製作所上級執行役員。正興商会社長、正興コーポレートサービス社長を兼務する。2010年9月から福岡ビジネス協議会代表世話人。

250社以上が加盟する福岡の異業種交流会「福岡ビジネス協議会（FBK）」が、2012年8月に設立10周年を迎える。異業種交流による「ビジネスチャンスの拡大」がその命題だが、10周年という承継は、会員各社の努力の積み重ねでその輪が広がった成果だと感じている。先では記念事業として「ビジネス展」の開催を予定しているが、同時にみんなで会の原点を見つめ直し、次の10年をどうしたいかを話し合いながら、結束を固めていきたい。

併せて会員増強にも力を入れた。会員増強はビジネスチャンスを創造するための基盤であり、私自身、「組織拡大委員会」に所属して常に力を入れてきた。現在、同委員会では10周年に向けて、会員になつてもらいたい企業のアンケートを実施するなど、50社増、会員300社を目指した活動を活発化させている。

ただし、入会に際しては、直近決算が赤字でないことなど一定の条件を設けており、会員の紹介があつても、お断りするケースもあ

「設立10周年へ向け、組織強化と会員増強を」

る。結果的に地元の優良企業や支店、また県事務所や大学、医療法人が名を連ねるコミュニティが形成されている。会員には、これによりもたらされる信頼関係をベースに、一方通行にならないよう、相互訪問でビジネスの接点を見だし、それを広げてもらいたい。

そのバロメーターとなるのが「交流成果」である商談成立の実績で、設立から9年間の累計で2万3000件、金額にして81億7000万円を突破している。業務提携や共同技術開発、共同出資会社の設立などにつながった事例もある。これからは福岡あるいは国内だけでなく、すでに交流実績のある中国などアジアも視野に入れて、ビジネスの場を創造していきたい。

会は48社60人の世話人会と、世話人が正副委員長を務める10の委員会を中心に運営されている。組織拡大委員会もその一つで、企業組織と同じように総務や財務、広報などがある。加えて、

インターネットや国際ビジネス、女性会員による勉強会といったテーマごとの10分科会もあり、会員による自主運営で、続々と新たなビジネスが生み出されている。

会合は毎月の定例会が基本だ。会員からのPRや交流成果の発表などがあり、会員同士あるいはゲスト参加者との交流の場となっている。この他、会員企業見学会、企業お見合い大会、講演会、泊まり込み合宿、大商談会など、ビジネスチャンス拡大のための多種多様な催しが目白押しだ。

また、ビジネスを離れて親睦を深める場として、会員の自由な発想の中からゴルフや謡曲、登山の愛好会も生み出されている。

入会はしたがビジネスチャンスを見いだせず、退会する企業が出ることもあるから、のべ入会数は恐らく1000社に達している。このことは、コミュニティの中に接点を見だし、自ら動かなければ、せっかくのチャンスがふいになることを示しているとも言える。そんなもつたない結果を招かないよう、ビジネスの役に立つ、魅力的な異業種交流会にしていかなければならない。そう思いを新たにしている。